

これ程酷くはなかったでしょう。私は自分の意志に反して、この遠征に加わりました。半裸のような乗組員たちの健康を  
気遣って、そのほとんどの者に自費で衣服を買い与えました。心労が、私の健康を蝕みました。長期にわたって、その地  
でのあらゆる取り組みが不満足な結果で終わるのを見て、私はこの辺鄙な地を離れたいと願いました。人生における最も  
良い時期を、みずから進んで社会に背を向け、自分が得たささやかな知識さえも生かす場もなく、そして勉強のための貴  
重な時間を失って、かくも無為に過ごさねばならないのかと自分を呪いました。私利私欲のためにかくも多くの犠牲を払っ  
たのだと、自分を責めることはできませんでした。私とその奉仕を捧げた一般社会の人々は、私を正しく評価してくれ  
るだろうと自らを奮い立たせました。多くの苦難を終えた後には、歓喜の情と共に親族や友人たちと抱擁を交わすことにな  
るだろうとも考えました。尊敬する皆様、以上が私の考えです。こうした考えは、ここで述べるべきものではないかもし  
れません。しかし不当な侮辱による痛みが、私に心情を吐露させたのです。皆様はこの文章を読むのに費やした数分間に、  
うんざりされているかもしれません。しかし私の気持ちをご憐察いただき、どうかご容赦ください。

一つ、お尋ねしたいことがあります。ニコライ・ペトロヴィチ・レザノフ侍従長の権限に疑問を抱き、その命令に従  
わないことは、誰ができたでしょうか。レザノフ閣下が日本船と日本人を捕らえるよう命じられ、これはわが使節を拒絶  
した報復として行うのだとおっしゃいました。ニコライ・ペトロヴィチ・レザノフ侍従長が皇帝陛下にウラナシユカ島か  
らこの計画を上奏された一年も前から、事は始まりました。日本人が定住していた土地の先住民と関係を築くために、勲  
章や品物が与えられました。そしてかくも長期にわたって、この遠征を計画し装備を用意するのに、露米会社の資金が使  
われました。これらすべてを考慮すると、計画は皇帝のご意志に従ってなされたのだと、誰が疑うことができたでしょう

か。仮にそれができたにしても、誰がそれを口にするのができたでしょうか。フヴォストフ中尉へ下されたレザノフ閣下の命令は、ご存じのことと思います。その指揮の下に私は配属され、その指示に私は従って参りました。

私は、ブハーリン大佐の行為は間違っていると確信しております。これがこの種の初めての例ではありません。しかし大佐の行為の目撃者でもなければ、このようなことは口にするべきではありません。不幸にしてこの人物の残酷さを、わが身で体験することがなければ、このような行為には及ばなかったでしょう。大佐の行為を言い表すのは厭わしいことです。オホーツクの誰もが話していることです。もし人々が話す万分之一でも本当であるなら、法律が大佐を止めないでいることは不思議なことです。手段を選ばない私利私欲で、ブハーリン大佐はオホーツクを留置所へ変えてしまいました。大佐は日々、自分の権限を大きく踏み外し、彼の命令がこの地では唯一の法律なのです。郵便は大佐の言うがままで、彼は不満を告発するあらゆる郵便物を差し止め、途中で取り上げる手段を持っています。大佐は政府の書類、手紙、そしてオホーツクやカムチャツカへ送られた勅令でさえ取り上げてしまいます。こうした訳で、当局はオホーツクで何が行われているのかをご存じないのです。ブハーリン氏は自らの咎で報いを受けるかもしれないという考えを火酒ウイスキーの中に流し込み、はるか彼方にあつて、自分を脅かす法律の力を軽んじているのです。オホーツク以外の他の町であれば、私がここに書くようなことはとても信じられないでしょう。しかしオホーツクでは、こうした出来事がおそらくロシア全土の中でも特異なものであることは誰もが知っていることです。それが真実であることは、町全体が証人となってくれます。少なくとも私は多くの人間から耳にしたことを、このように書いています。